

第60期特別体育課程（第2教育課）入校式



世界の頂点を目指し
自衛官アスリート 163名 **始動**

令和3年4月14日（水）第60期特別体育課程（第2教育課）入校式が、自衛隊体育学校球技体育館（朝霞駐屯地）で挙行された。

昨年度同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しつつ関係協力団体及び競技団体の代表者をはじめとし、防衛省人材育成課長、陸上幕僚監部人事教育部長、陸上自衛隊教育訓練研究本部総合企画課長及び新規体育特殊技能者の家族等を招待し、厳正に執り行われた。



式辞を述べる
豊田学校長

初志貫徹

第2教育課

今期の入校者は、第59期からの継続者129名に集合訓練から選抜された18名、今年度新たに体育特殊技能者として採用された16名を加えた163名となった。

式は、各種別班の監督が一人一人名前を呼び選手を紹介した後、学生を代表して射撃班山下敏和3等陸佐が堂々たる態度で力強く申告した。

豊田真学校長は入校学生に対し「皆を選ばれたアスリートである。強い自覚と真摯な鍛錬の積み重ねにより、夢を実現して貰いたい。また隊員に誇りを与えること、国民に喜びと希望を与える崇高な使命をもつアスリートとして、世界の頂点を目指して貰いたい。」と式辞を述べた。

新規入校学生を代表してレスリング班奥野春菜2等陸曹が「歴史と伝統ある自衛隊体育学校への入校を誇りとし、自衛官アスリートとしての自覚と支援して下さる方々への感謝を忘れず、初志貫徹の精神でそれぞれの競技において、世界の舞台で活躍できる選手を目標に努力します。」と決意を述べた。



新規学生代表挨拶をする
奥野2曹

指導者を代表し、ロンドン五輪レスリング女子金メダリストで現コーチの小原日登美3等陸佐が「皆さんが必死に頑張る姿や、世界に日の丸を掲げる姿に勇気を貰う自衛隊の仲間がたくさんいます。自分の目標に向かって、自分自身の為に、共に頑張りましょう。」と激励の言葉を送った。



激励の言葉を掛ける
小原3佐

卒業式

冬季特別体育教育室

第59期特別体育課程

令和3年4月16日（金）第59期特別体育課程（冬季特別体育教育室）卒業式が真駒内駐屯地第1会議室において挙行された。令和2年度の卒業式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校長をはじめ最先任上級曹長、指導部、学生だけと人員を最小限にし実施した。第59期特別体育課程（冬季特別体育教育室）から第60期への継続者は15名で、長年クロスカントリースキー班のみならず、日本のクロスカントリースキー界を牽引してきた吉田

主伸1等陸尉は令和2年度をもって引退となった。

豊田真学校長は「コロナ感染症の世界的蔓延という困難な状況の中、北京五輪を目指して強い気持ちを保ちながら厳しい鍛錬を継続している諸官に敬意を評する。ここ体育学校に在籍する自衛官アスリートは、防衛省自衛隊の財産であり誇りである。今後も選手として全員がそれぞれの道で大成することを祈念する。」と式辞を述べた。



卒業式に参列する
冬季室学生

